

哲学者になりきって熱弁～現代社会演習～

9月19日(火)6時間目、3年生の現代社会演習で、**生徒が哲学者になりきってスピーチをする授業**が行われました。現代社会の「倫理」の分野には、数多くの哲学者が登場します。

インプットするだけでなく、アウトプットすることで、より記憶を確かなものにしようと、「アカデミア高等学校」の生徒会選挙に哲学者が立候補するという想定で、**フランス・ベーコン、ニーチェ、荘子**など6人が“立候補”しました。

インプットした知識や情報を記憶に定着させるのは、他人に説明したり、教えたり、文章にまとめて発表することつまりアウトプットすることが効果的です。アウトプットするためには、インプットした情報を順序立てて構成する必要がありますし、曖昧な点や情報が不足しているとアウトプットできません。自分自身の理解度や習熟度をチェックするのにも役立ちます。

中国の諸子百家の一人である荘子に扮した生徒は「僕が生徒会長になったら『万物斉同』をスローガンに、すべての人が平等になる学校にしたい」とアピール。イギリスの哲学者ベーコンに扮した生徒は、「生徒会長に立候補した理由は、『経験』による知識で、みんなと一緒に世界を豊かにしようと思ったからだ」と熱弁をふるっていました。

授業者によると、スピーチに挑戦した生徒は「緊張して自分の言いたいことがうまく伝えられなかった」と振り返っていたそうです。また、スピーチを聞いた生徒は「今回登場した哲学者には親近感がわいた。テストに出たら必ず解けるようにしたい」と話していたそうです。

